

1. 件名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構高速実験炉原子炉施設の変更に係る設計及び工事の計画の認可申請に係る事業者とのヒアリング（7）
2. 日時：令和5年12月8日（金） 13：30～14：45
3. 場所：原子力規制庁10階南会議室
※本ヒアリングは、テレビ会議システムで実施
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
審査グループ 研究炉等審査部門
有吉上席安全審査官、伊藤主任安全審査官、小舞管理官補佐、
荒井安全審査専門職、加藤試験炉係長
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
安全・核セキュリティ統括本部 施設保安管理課 主査 他2名
建設部 建設課 課長 他1名
大洗研究所 高速実験炉部 次長 他4名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. 配布資料
資料1：国立研究開発法人日本原子力機構大洗所（南地区）の原子炉施設（高速実験）の変更に係る設計及び工事の画認可申請書概要（1次アルゴンガス系配管の一部改造）
資料2：地盤改良後における原子炉施設（高速実験炉）の基礎地盤の安定性について
資料3：改良体の直径の設定について

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	それでは 12 月 8 日の場へのヒアリングを開始いたします。本日は先日、申請いただきました一案バスケ配管の一部改造に関する設工認に関する説明後、
0:00:11	地盤改良に関してですね、ちょっとこちらの、
0:00:14	浅井布施等になってですね今イメージ合わせの、
0:00:17	打ち合わせを行いたいなと思っておりますそれでは、説明の方お願いいたします。
0:00:22	はい。すいません。吉原松江の西條からご説明させていただきたいと思います。お願いします。はい。
0:00:29	説明させていただきます。資料 2 枚目のところからご説明いただきます。千原梅崎配管の一部改造の概要ですけれども、つもは浅部のところが小六 13 年 3 月 31 日付けで、
0:00:44	認可を受けた一井冷却計画活性化設備の一部変更という件名で、認可を受けた範囲になります。ここに関しましては戸松Bを、
0:00:56	内山付から切り離して切り離れた部分に配管または閉スコープを設置するのが、今回の設工認申請させていただいた部分になります。また、破線の部分のところですが、
0:01:10	川口に普通物として存在する希ガスの濃度を制限するために希ガスフィルター等、昭和 63 年当時つけたものになります。
0:01:20	当時の機種別ですけれども、第 4 主幹。
0:01:24	鳥羽田添、第 4 種容器、また耐震クラスはBクラスとなっております。3 枚目のところですが、
0:01:34	系統図でイメージになります。左の破線の部分が 2 枚目のスライドで出していた申請範囲になりまして、それを今回、右の赤太線部分、配管と閉止キャップ①②をつけることで、設計等との切り離しを行います。
0:01:52	ここ、新しくつける配管及び閉式アップの主な仕様ですけれども、機器種別は第 4 主幹、共同計算は、試験研究用原子炉施設に関する構造等の技術基準を適用いたします。
0:02:06	耐震クラスは、Bクラス、耐震計算についてはTPTスパン法を適用して計算しております。
0:02:16	予算の中でですけれども通常時、運転時から冷却材またはカバーガス漏えい事故、香山との止め弁を有する配管系は、原子炉側から見て第 2 東名までが、
0:02:29	原子炉カバーガスのバウンダリに含まれるという点。
0:02:33	会社変え発電用原子炉設備規格の設計建設規格、第 2 編高速炉規格に記載がありますので、それに基づいて今後、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:43	今回の改造範囲は原子炉カバーガス等のバウンダリには該当しないものと整理しております。
0:02:50	耐震計算のところでは改造後の配管の芯感覚ですけれども配管の耐震性確保のための定期巡視スパンを下回っていることを確認しております。
0:03:00	続いて、7枚目のスライドですけれども、一応、設計配管の一部改造の系統図に対する配管の改造範囲の位置を詳細に示したものになります。
0:03:13	左の図が、既設の現在の状態になりましてそれを、右の図の青い線で書かせていただいた部分のように配管を変更いたします。また、①②③のところは配管の据えつけ位置になりまして、
0:03:29	次の⑤番の資料の通り、配管の①②③の部分にそれぞれ生活するものとなっております。
0:03:40	6枚目ですけれども、
0:03:43	昭和63年に委員会を池崎勝部竹之内と鹿野山名代表ですけれども、活性炭の吸着シヨンカバーガスを通気して、深層心理吸着によってFPガスを回収するための設備をつけておりました。
0:03:59	どこの設備の
0:04:01	ところが、もう、今後使用要請がないところになるので、系統から切り離すというものになります。
0:04:08	また、7枚目のスライドですけれども、説明させていただいた発電用原子炉設備規格、設計建設規格第2編の原子炉カバーガス等の保安度のはい。
0:04:21	該当し軽減するかバス等のバンドル該当しないというところの部分の部分を抜粋でつけさせていただきますいております。
0:04:30	つまり上でのスライドですけれども、三角形配管の一部改善に係る原子炉設置変更許可の基本方針のところは記載させていただいております。兼ポチの個別、原子炉冷却系統設備こぼさ録音が設備に
0:04:48	今回当てはまります。本審査の改造範囲ですけれども、原子炉カバーガス等のバウンダリには該当いたしません設計条件を、原子炉カバーガス等のバウンダリーと同様に耐震クラスをBクラスとさせていただいてます。設計仕様については原子炉、川畑さんの磐梯影響を
0:05:08	持つことなく、設置変更許可申請書の基本方針及び適合のための設計方針の内容と整合させております。また、原子炉カバーガス等のバウンダリに該当いたしませんので多量の放射性物質等を放出する事故の防止の、事故の拡大の防止のための資機材には該当いたしません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:28	9 番目ですけれども、一番今回の設工認の中の一番が系配管の一部解除に係る設計条件及び設計仕様の方を記載しております。
0:05:38	まず配管側ですけれども、機器種別は第 4 主幹、耐震クラスB黒須内部流体はアルゴンガスとなっております。ただ、最高使用圧力は、
0:05:49	内圧が 0.15MPa、開発課 0.1MPa、これは
0:05:55	糸賀
0:05:57	阿久津井上設工認申請書の燃料破損建設部における、設計圧力より設定しておりますが最高使用温度も、7 月開発ともに 60 としております。これも燃料破損検出設備の低温、
0:06:11	設定しております。また、配管のサイズですけれども、30、外径が 34 ミリで 1Bクラス、肉厚が 3.4。
0:06:22	使用材料さつ 304TPO不祥事しております。続いて 10 番の下のところは閉止括弧のところになります。今日支局の配管と同様に機器種別は第 4 主幹、耐震クラスがBクラス、内部流体をRV見ます。
0:06:39	主圧力、最高使用温度閉止角 01、す。
0:06:44	のところも②のところもすべて一緒になっております。
0:06:48	四角①のサイズですけれども、これは既設の
0:06:53	1 ビーンスタークの配管に接続する、差し込み溶接型キャップとなりますので、差し込み分の内径は 34. 五味差し込み分の深さが 12.7mmで発坂 8.3 ミリ。
0:07:06	使用材料さつ 304 となりましてこれ、JISB2316 の配管様構成差し込み溶接し気管継ぎ手を適用しております。
0:07:16	丸の 11 番目の方、記載させていただいております。設計条件、機器種別耐震クラス技術の資料閉式アップ①と、すべて同様となります。
0:07:29	こちらの表紙約 02 の方は、脂肪の一部が 8 サイズの配管に接続をいたしますので、差し込み分の内径が 14.3mm、差し込み分の深さが 9.6mm、ヘッド厚さが 4.5 ミリ。
0:07:44	周材料お札 304 でこちらのJISBの 2316 配管用校正差し込みを布設機関継ぎ手を適用しております。
0:07:54	12 ページのところからですけれども耐震計算、行った結果について説明さを入れさせていただいております。引き続き方針といたしましては、
0:08:05	口径が小さく使用温度が低いため振動数基準定ピッチスパー甲乙臭いをしております。本配管の支持間隔は振動数基準定ピッチスパン法に求め、より求めた最大瞬間距離以内であることを、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:20	確認しております。あと、今回の一部変更のうち、既設配管一部切断スタート取りつける資格については、水久郷取り付け近傍に指示等が設けられていることから、既設配管の進展間距離、
0:08:36	短くなって発生応力は低減されることが明らかでありますので、大変高額な耐震。
0:08:42	評価上の影響はないものとしております。設計条件ですけれども、耐震クラスはBクラス、水平方向設計震度 0.389 分。
0:08:53	先財津が 304P内部流体が、R5 末、最高使用圧力は 0.15MPa、最高使用温度は 60 度としております。
0:09:04	また、多く 1 スパン法における最大進展間距離、N0 計算を求める値としまして、管外径が 34 ミリ、肉厚が 3.4mm 永代長さ体の質量は、内部のアルゴンガスの質量を含めて 2.60×10 のマイナス 3 乗。
0:09:21	弾性係数が 1.92×10^{-5} 乗断面二次モーメント 3.8 の中で 10^{-4} 乗として、左下の式に計算をしております。
0:09:34	続いて 13 枚目のスライドですけれども、地震時に生じる応力ゼロのチームのパラメーターとしましては考え形が、
0:09:44	30 日、6 月 3.4、再講習圧力が 0.15MPa、神長さんの 1 人について 2.60×10 のマイナス 3 乗で、
0:09:55	配管内のアルゴンガスの 1 人を含めております。断面係数は 2.27 掛け 10 の 3 乗 応力係数 2.1 としております。
0:10:07	一時に発生する応力の S0 の式は、左の方に記載しております式で計算しております。中央値の方にそれぞれ A、S0 と L0 の計算結果のほうを記載させていただいております。
0:10:24	東条件間の
0:10:27	における、震災の進展間距離 L0 計算結果が 2049 ミリ、またそれ 2049 年に対する
0:10:36	知事の授業力 0 が 13.23 となりまして、この総合原子力厳守原子力発電所の耐震設計技術指針。
0:10:48	第 4 主幹の許容力として 1.2S の値と 164.4 と比較しまして、13.23 と十分低い部分を確認しておりますので、評価としましては、
0:11:01	1、一部該当する情報、違う圧系配管は、すべて上記最大新店間距離以外の感覚で支持することから、地震時は生じる応力が上記の値を上回ることなく、影響力に対して十分な有を、
0:11:16	していることを確認しております。
0:11:19	さて、次、15 ページ目からになりますけど、こちらの方は共同計算の確認になります。規格計算の対象部品ですけれども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:30	右の図で示しております通り配管に対しては肉厚形式アップの①に関しては公称厚さヘッド厚さの部分なり、8.3mm。
0:11:40	②についてのHeadさんの4.5mmが評価部位となります。16 ページ目で計算式ですけれども、まず菅野板厚の形。
0:11:52	3 ですが、試験研究を営する施設に関する構造等の技術基準、第 56 条第 1 項、これは第 4 主幹のところになりましてその中に財産主幹を準用しなさいと記載がありますので、第 40 条の第 1 項を準用しております。
0:12:09	で、復習する、材料ですけれどもさっ 304P で最高使用圧力ないやつが 0.15MPa 外圧が 0.1MPa。
0:12:19	最高使用温度は内圧開発ともに 65 からの外径は 34 ミリ、公称厚さが 3.4 ミリ、また偵察 304PP の間は、月村氏のシームレス感があります。
0:12:32	貨幣感謝代表主幹影響引っ張り揚力 137.0 継ぎ手効率は 1.0 日が外圧チャートによって求めた値ですけれどもそれは 8.65 としております。
0:12:46	それを用いて左の技術基準の第 4 条の第 1 項の第 1 号及び第 2 号の式によって計算された、経産婦さん、T 字君が 0.0 日。
0:12:59	また外圧かかるのが 0.3 ミリ、できん 1 時には大きい値は外圧の 0.3 ミリとなります。また、
0:13:07	計算する最初スターTSのところですが、公称厚さ 3.4mm のうち通常の製造の競合差が 0.52 でありますので最小厚さの評価としては 2.92 時。
0:13:20	と比較して評価しております。ただ、2.9メートル 0.3mm で 2.9mm の方が明らかに太るので影響度が十分であることを確認しております。
0:13:30	また 17 枚目のスライドですけれども、兵士局の板厚の計算についてですけれども、閉式アップは、試験研究用原子炉施設に関する模構造等の技術基準。
0:13:42	第 56 条第 7 号第 1 号の括弧時上げられる日本産業規格、永久日本工業規格の、J ISB2316 配管用校正差し込み溶接し気管継ぎ手に適用するものです。
0:13:56	ここで条文中で菅杉田松澤試験研究を支援する施設に関する構造等の技術基準の第 56 条第 7 項により、以下に示されるように、受容される第 40 条第 1 項により必要とされる厚さ以上であるため、
0:14:12	板厚の計算としては不要としております。このスライドの左側のところに試験研究用原子炉施設に関する構造等の技術基準の 56 条第 7 項の条文を一部省略の上、記載させていただいております。また、
0:14:29	当会館次点接続される、
0:14:33	市民のインチの配管と、四分の 1B の 8 号の配管がそれぞれ第 4 条第 1 項の規定によって、必要とされる厚さ、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:43	を確認しておりますそれが右の表になります。配管と同じように計算をいたしまして閉止キャップ①に関しては同じinchサイズなので
0:14:55	必要とされる母さんは 0.3mm、また、四分の 1 に関しましては接続される管の外径が 13.8mm 交渉坂 4.5 時となっておりますのでここをもって比較しまして、厚さとしては 0.1 ミリ。
0:15:12	原子核 01 のヘッド厚さの部分は発電さんメリット 0.3mm で比較して十分、分厚いことと、0. 一二mm と、自分の一戸戸松さんの 4.5 ミリを比較して十分厚い口頭確認しておりますので、
0:15:28	問題ないものとしております。また、18 枚目のスライドですけれども、実日 2316 の配管用冊子候補。今回は構成さそこについての兎相の、
0:15:41	文章を抜粋で記載させていただいております。死角 0102 に関しましては丸栄系のところは予備のヘッド厚さのところを実情最小値で 8.3、4.5 ミリとなっております。
0:15:58	ここのA系のネットワーク差と
0:16:02	従来試験研究研修施設なんか公共統合
0:16:07	基準の、第 56 号、第 7 項、比較しまして、比嘉平田松田の計算は、行う、デフ行わずとも JIS B に 36 の
0:16:18	値を満足していることで必要な強度を有していること。
0:16:22	しております。19 番目のスライドですけれども、一番松木配管一部改造に係る使用前事業者検査の主な項目を書かせていただいております。
0:16:33	工場強度及び漏えいに関する確認に係る検査としましては、材料検査、寸法検査、耐圧検査を 2 種類使っておりますがこれは耐圧検査②の方ですけれども。
0:16:47	配管ヘルスキャップ上①及び②を設置した系統の構成上、最高使用圧力の 1.25 倍まで検査圧力を上昇させることが困難な系統になりますので、
0:16:59	大体検査として配管閉止 1000102 については、一次アルゴンガス系の通常圧力において、これに耐火つつ、著しい漏えいがないことを確認するとともに、
0:17:10	溶接部について浸透探傷試験により有害な欠陥等がないことを記録した書類の確認によって行うとしております。
0:17:21	その他二瓶会館据付検査が入っておりますが、今回機能及び専門の確認に係る検査としては該当するものがないので該当なしとさせていただいております。
0:17:34	上記以外に、適合性確認検査と品質管理検査は適切なタイミングで実施予定となっております。20 万円のスライドですけれども。
0:17:45	先ほどご説明させていただいた耐圧検査、大体検査として実施する理由の部分になります。試験研究の用に供する原子炉等の技術基準に関する規則の解釈。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:57	別紙で試験研究の用に供する原子炉等に係る施設の溶接の方向で、溶接部の耐圧試験等というところに、
0:18:07	赤の左の方で枠で記載させていただいておりますが、
0:18:12	機器の分の溶接部はそれぞれ試験圧力食うに従って耐圧試験を行いなさいという記載があるんですけども、ただし書きのところで、
0:18:23	容器または保管の構造上、口頭が圧力で試験を行うことが、著しく困難である場合であっては限り高い圧力で試験を行い、これにて、かつ漏えいがなく、
0:18:35	放射線透過試験、超音波探傷試験、10分干渉試験または浸透探傷試験のうち、いずれか適当が、非破壊試験を行ってこれに合格する時はこの限りではないという記載があります。
0:18:50	今回タンク試験ができない部分ですけども、
0:18:55	2月のところの閉止脚 010203、閉止脚マネジメント配管を既設配管と接合する部分に関しましては系統とつなげまますと、
0:19:06	隔離するための弁を閉じた場合に衝突する系統を有していないということと、また、隔離するために明和能登地内で全系統全体を掌握する場合には、原子炉カバーガス等のバウンダリ全体を昇圧してしまうことになってしまいますので、
0:19:24	プラントの法案上適切ではないということから、容器または管の構造上、当該圧力で試験を行うことが著しく困難である場合に該当するというふうに整理しております。それで、ここに関しましては
0:19:39	ダイエー開発検査としては大体検査で実施させていただければと思います。
0:19:47	21 ページ目に、今回配管を溶接でつなぎますけれども溶接検査が要しない理由の方も記載させていただいております。試験研究の用に供する原子炉等の技術基準に関する規則の解釈の部分で、
0:20:01	突合せ溶接による溶接部であって次の(1)から(4)に掲げるものが、溶接検査を有するものとしており、なっております。
0:20:11	忙しい。この中で会計が 60mm以下の顔除くという記載がありまして、今回会計は 34、最大で 34 位になりますので、容器に最も近いと病院の方にまた、
0:20:25	復帰するものでもありませんので溶接検査は必要なものと、作成しております。
0:20:31	22 ページの方ですけども、1 ハロンガス系配管の一部改造に係る工事フローのほうを記載しております。左の方が工事、予定している工事工程表、次年度材料文書から始めまして、材料入手後に材料検査、
0:20:49	また、機械加工組み立て溶接、根本宗工場の方で行いまして現地に搬入後、
0:20:56	現地では既設の配管の切離しを行った後組み立て溶接を行って、まずそこで開発検査を実施いたします。また、続いて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:08	系統に実際に据えつけた際に残りの試験を実施する予定としております。また工事全体としましては 2024 年度中の工事完了を予定しております。
0:21:21	続いて、23 ページ目ですけれども、技術基準規則への適合性についてですけれども、該当するものの一つとして第 6 条の第 1 項の地震による損傷の方針通り、
0:21:33	入れております。原子炉施設は耐震重要度に応じて、以下の耐震重要度分類を、
0:21:41	に分類する。本申請に係るチャンス系は、耐震重要度分類Bクラスに属する施設として取り扱っております。Bクラスの施設は静的地震力に対して概ね弾性状態税にとどまる範囲で耐えるように設計しております。また、共振の恐れのある施設については、
0:21:59	その影響について検討を行う、その場合検討に用いる地震動は、
0:22:06	岩瀬瀬、
0:22:08	弾性設計用地震動に 2 分の 1 を乗じたものとします。また当該地震動における地震力は水平 2 方向及び鉛直方向について、適切に組み合わせて算定するということにします。本申請に係る一番まず形の部分ですけれども。
0:22:24	耐震計算書で先ほどご説明させていただいた通り、Bクラスの施設に要求される耐震性を有しており、それに作用する地震力による損壊により、
0:22:36	公衆に放射線障害を及ぼすことのないよう、
0:22:40	設計されております。また、以上により原子炉施設は第六条第 1 号に適合する設計と、というふうにしております。続いて、24 ページ目ですけれども。
0:22:52	技術基準への適合性で対象第十二条の材料及び構造の部分があります。
0:22:58	この部分も同様に原子炉施設に関しては試験研究用に供する原子炉等、技術基準に関する規則の解釈に基づいて、容器等がその設計上要求される強度を確保できるように設計しております。本システムに係る一案バスケットは
0:23:17	ご説明させていただいた、通常運転時間冷却材的場バス漏えい事故時、香山太平一刀禰便を有する配管系は、原子炉側から見て谷井米分までの元に、はい。
0:23:29	するため原子炉カバーガス等のバウンダリには該当しないと整理しております。ただ、添付書類の強度計算書に記載しております通り、対応主幹に要求される強度の確保。
0:23:43	確認しておりますが開会ベースキャンプについては検査項目で説明をさせていただいた開発検査の方を実施いたしまして、
0:23:53	検査伝える圧力みたいかつ著しい漏えいがないことを確認します。また、その企画し影響等の公表助手最高使用圧力の 1.25 万まで、
0:24:04	警察力を上昇させることが困難である部分については大体検査を実施いたします。さて、25 ページのところですがけれども技術基準の各条文の適合性の。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:15	もう設工認の文章のところから、記載させていただいております。該当する部分ですが、第6条の地震による損傷の防止、これはスライドの12ページから14ページです。
0:24:29	説明させていただいた。
0:24:31	耐震計算部分が該当いたします。続いて12条の材料及び構造の第1項、第1号の部分に関しては強度の共同計算の部分で説明。
0:24:46	適合していることを説明しておりますまた、具体的に降雨の部分に関しましても強度計算で説明しております。これからの申請範囲の情報の適合性としましては第6条と第12条以外の部分のところに関しましては、
0:25:03	評価の必要なものはないという、すべてなしというふうに整理しております。
0:25:10	26ページ目のところですがけれども、3012条第1項第2号、容器等の主要な耐圧部の溶接部該当しないということで、これは当日検査が不要であるというところでちょっと説明をさせていただいてますが、
0:25:26	(5)の部分ですが、核燃料物質の取扱設備、もしくは貯蔵施設、原子炉冷却系統施設、計測制御系統施設、放射性廃棄物の廃棄施設。
0:25:37	放射線管理施設もしくは主要実験設備等に属する容器またはこれら2施設、属する会計61日を効力感であって損害補償では、
0:25:48	生物もんが37ミリベクレルパー立方センチメートル以上に上げておりますが、今回接続する配管、閉止カップともにすべて最大で外径が34.5ミリ、または四分。
0:26:04	1Bで海脚14.3に接続するものとなりますので、今日は61ミリを下回りまして、容器等の主要な耐圧部分の溶接部が該当しないものと、
0:26:16	してます。
0:26:17	27ページ目から29ページ、30ページまでが、技術基準への適合性に関して、各条文の必要性の有無について確認したものを添付しておりますがすべてなしとなっているので、
0:26:34	各適合性の該当しない理由の細かい説明のところはちょっと説明を省略させていただきます。
0:26:42	また、最後に31ページ目で、品質保証に係る原子炉設置変更許可申請書等の整合性ですがけれども、原子炉施設、原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則。
0:26:58	この適合に関しては右の図のように確保いたします。高速実験炉部としましては設計開発の計画で、まず、調達先へ設計を発注し、設計結果を納入して、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:13	今、設工認申請をさせていただいているタイミングがあります。この後ですけれども、工事を発注いたしましたして工事完了後使用前事業者検査使用前、確認書をいただいて、工事すべてを完了と。
0:27:29	そのように考えております。説明としては全体として以上になります。
0:27:34	ご説明ありがとうございます原子力規制庁の方から何か質問等ございますでしょうか。
0:27:40	院長、すいません、有吉です。5 ページの、
0:27:46	アイソレあるじゃないですか。これ寸法定着して進む。
0:27:51	解除に係る流されてないんですか。
0:27:57	この①の部分から③の部分で、一番長い距離の部分でも、
0:28:04	正確な数字をすみません、うろ覚えになってしまってるんですけど大体 1500 ミリから 07 組。
0:28:11	市野 2049 億下回っているんですが、この改造部分にはね、SPARTサポートつかないってことになります。サポートも、既設のものを流用して、
0:28:23	取りますので実際の配管の新サポート課の配管長としては、さらに短くなるというか改造部分にサポートをつくわけです。はい。
0:28:37	そうすると寸法関係引っ込むつくれますかね。一つ。
0:28:42	そうすかね一つ。
0:28:43	サポートとして二つ。藤倉委員。①コミュニティーの部分の近傍にサポートが設けられるのと、あと③の部分に既設のサポートが、
0:28:55	1 脚ぐらい。はい。一つつくわけですね。
0:28:59	それからわかりました。
0:29:01	それから、いつまで
0:29:05	聞いた瞬間から、①から③、①から③が 100 ぐらい、これ。はい。
0:29:21	そうしてください。携帯するから忘れてるんです。
0:29:26	でもそれは、これはもう
0:29:28	カバーガスボンブじゃないってのはそうだと思うんですけど。
0:29:31	昨日はこれ黒須のときに、やはり助けたじゃないですか。パンフレット作ってつけたんですよ。その時残さどーズ
0:29:40	で、まさかコンマ 15MPaまで行かないと思うんですけど、大丈夫ですよ。
0:29:48	実際にはこれ、プロジェクトみなすかかっちゃうんで、本当にわかった。
0:29:56	今村部長。
0:29:58	前回、
0:30:00	一時期R一系の設計圧に合わせて欲しい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:11	は、これ細かいちょっと揚げ足みたいなこと言うけど、あれですよこれは説明は民間とキャップがあったんですけど、地域不向き。
0:30:22	これから入ってるでしょ。
0:30:27	はい。
0:30:32	そうですか。
0:30:34	プレスで新しくついてますよね。
0:30:37	はい。それと、
0:30:39	何ですか。それと右折する際、
0:30:43	いや、どうすればコーティングの時にね、こういうキャップちゃうやつ入ってこないんですかねって言ったかもしれませんが。
0:30:51	江藤のところも配管における継ぎ手として整理されているので、月の肉厚とか、に関してはすべて配管に準拠するような形になるので、
0:31:04	強度計算耐震計算のところ、徳田知して、記載とかはしていた。だからそれを聞いてしまう配管の中で、実に幾つものを使えますって書いてあって言ってるんですけど。
0:31:18	何か協議するあれするんですか。慣例的に書いてないんで。麻生。
0:31:28	杉邸を全部こう並べるとかっていうのは、
0:31:32	やってないので。はい。じゃない。これは1個しかないからなんですけど、うわ言を考えると、いや、とりあえずあんまり細かくしたわけじゃないので、
0:31:51	はい。
0:31:53	とりあえず
0:31:54	もしですね、技術確認としては検討します。
0:32:02	渡しております。以上です。どうぞ。
0:32:05	衣川です。19 ページのところの収納事業者検査のところ、まずお伺いしたいんですけども。はい。ホンエキ検査 0102 ございまして、耐圧検査①が、配管据えつけ前にある検査って、
0:32:20	堤体圧計算は2月付けた後になりますよね。
0:32:24	ここで耐圧検査②の方なんですけど、出力が1次アルゴンガス系、通常圧力ってことなんですけど、これ、通常の測定、どのぐらいなんです。ダイエー。
0:32:41	海側ではないんですけども、大体KPa定義を、
0:32:51	0.01-1 という数字そのものです。
0:32:59	石村池戸です。
0:33:01	だから、最高使用圧力比べてやや低いですか。うん。うん。これはもうちょっと高いんですけど、確か。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:10	所低いですこれ。
0:33:13	それを運転する次は 60%。
0:33:27	ご準備でいけば、これは 20、
0:33:31	すいません古谷です。
0:33:35	いや。
0:33:37	小塚関係で教えてもらえますよね。
0:33:41	0049kPaね。
0:33:45	浦委員さん、何かこの辺りはね、アズジェントのこの作業の設定範囲、カバーガス圧力をせえ櫻田横谷コンマ 2 からね。
0:33:56	約 1.0kPagage評価で書いてますよね。
0:34:03	近くなる。
0:34:04	高安さんの運用でいくと。うん。0.4、50 宮村毎年中心値に対して整理をしております。はい。
0:34:24	開発検査①の耐圧検査②も、漏えいがないことで著しい漏えいがないことっていうふうになってるんですよ、これの判断。
0:34:44	設計寸法で、
0:34:46	例がないことも、
0:34:48	確認するというふうに考えています。
0:34:53	著しい漏えいがない。
0:34:58	富士からこういうふうにまわします。発泡材関係で、同じ実績があるはずですよ。
0:35:06	最低だから数字で言うと、仕掛け中のマイナス産業CC/secぐらいの、
0:35:14	漏えいがあると、下には吹きますみたいな、そういう試験装置があって、それで、下には噴いた、発泡剤、それが実施すべきでされて、それでやる工夫。
0:35:26	それで目視で、赤丹羽が出る出ないんを検査する場合には、大体いつも著しい漏えいがないことっていう感じで基準にしております。
0:35:43	それ、今回の場合は、どうやって圧力をその下に家を見るための圧力はどんな感じでかけるかちょっとすいません、系統図的に。
0:35:53	ちっちゃな①は②の方、②は繋いでやる状態もちゃんと繋がってるよね、それやると訴えて運転使ってて運転圧状態で、下に泡が。
0:36:09	ちょっと 40 分から見ると、劣化でないかって見るっていうそういう理解にご質問会長 10 分以上、副院長溶接未収です。
0:36:21	だから通す、通常の圧力だから、先ほど整髪で下に合わせるか出ないかって見ると、
0:36:34	プラス、あれですよ。浸透探傷、一応、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:39	その仕事で、
0:36:41	開発担当試験、はい。
0:36:46	現存やろ。
0:36:48	ピーティング
0:36:49	決めないんですよってということなんです。UTとかね、じゃないと。
0:37:17	次ページに行ってください。
0:37:22	3年、030ですか。
0:37:25	そこはそこにパケットになります。
0:37:36	マーケティング部管理者の佐瀬爾見で溶接して、1、1台に余ったりしないので、
0:37:48	突き合わせて、
0:38:05	始まるんですけども、23ページ。
0:38:15	傾斜規制庁のアライですけど、3ページのところで、常盤フィルター等は、
0:38:22	ですね切離しの説明 2030年度までをめぐりに、段階的に撤去する予定ってあるんですけども、再稼働とかそういうのを踏まえて特に何か設定した数字、値段は特に関係なく、2030年度ってというのはどういうものか教えてください。
0:38:41	わかりました。
0:38:44	予定だと再稼働した後、店舗残るっていうそういうそうですね青柳順次、あと逆に順次提供してます。
0:38:58	真崎があることは、
0:39:01	3、
0:39:11	これが既設設備なんかシステムを与えないかどうかってことなんですけれども、例えばこの、
0:39:17	このぐらいの、
0:39:19	あと大きさで10あるのかわかんないんですけども、この
0:39:23	東フィルター関係の試験設備っていうのを新規性基準耐震性になるわけですけども、これが何か、纒纒神があったときにこれが他にぶつかったりとか、悪さとかは、
0:39:34	信頼って考えていいんですか。
0:39:37	そうですね。
0:39:40	ないですねそんなに優勝して当然切り離しておいた形に上がるんだね。
0:39:53	置いてある場所ってところ辺にあるんです。
0:39:58	減少。なるほど。個別論から一つ下のレスポンスのところにある中1回、
0:40:06	んなりますね、R-407っていうやつ。
0:40:12	会社に入っていくみたいなのは、伴平の。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:16	何か1ヶ月力がいいか。
0:40:21	あまり重要な機器とか特にそういうのがあるわけでもないようです。
0:40:27	ここは結局、今年度は産経関係ない。
0:40:53	言葉の
0:40:57	顔だけなんですけれども、
0:41:05	設計仕様の配管とか、こう書いてあるところなので、
0:41:10	これ。
0:41:14	善管注意を印刷して、9ページですね、9ページのところで、最高使用圧力と最高使用温度でないやつとか内容通知ってことはあるんですよ。
0:41:23	この、
0:41:24	外圧と下の子に関していうところが、真空引きされてるときにこの圧力がかかってるってそういう回答でいいですか。わかりました。
0:41:35	長くない私真空引きしてる時は外圧実験、
0:41:52	どうでしょうか。
0:42:01	12ページ。
0:42:06	いただいて、最新のところなんですけれども、この真ん中辺に設計条件っていうのがありまして、耐専カーサの日だと、水泳農協設計診療が0.389って書いてあるんですね。はい。
0:42:22	例外沢口9っていうのは、
0:42:26	どっか動いてきたのかっていうのが一つと、等、水平方向と鉛直方向とかの考え方。
0:42:37	どうされてるのかっていうのちょっと確認とか事実確認だけ。はい。389という数字のところですけども、グループ長は63年に認可を受けた時の、
0:42:50	設計振動で、今回設置変更許可事務局案の設工認でここ出す予定となっている建物の耐震のところまだ設工認を出せない段階になりますので、
0:43:02	前のものを使っていますって言って、ごめんなさい。昭和65歳、昭和63年も、
0:43:13	仲介って言われたところの数IFRS本数20、いわゆる政府重視。
0:43:26	ZPAですね、ZPAを使っていると。
0:43:30	ということは、
0:43:34	そうか。
0:43:35	そして、基本法許可が出たけれど、方が緊急時になってるんですね休憩順で。しかも、
0:43:42	旧基準で昭和ごめんなさい。63年だから、今の新規制基準みたいに水平方向対延長方向まあ組み合わせろとかっていうのが全く分かっていたいただいて、鉛直ってそもそもあった時代なので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:57	そうするとその消防 63 年ベースの、
0:44:04	地震力。
0:44:06	どうしましょう。
0:44:09	事実確認状況は、岩井とかいう話じゃないかと、Bクラスなので、耐震評価するときには水平方向のベンチャー高校に関しては、
0:44:19	新聞とかの工場は行ってないっていう、台帳入ってない。だから、片川川浪、宗川、丸木古井地震力っていう、
0:44:32	理解しておけば、そういうすごいタイミングって何か、すいません。それで、これ別に負担が 10%分は確認なんで。
0:44:47	ぶっちゃけトークですけれど、こうやって今の新規制基準的な、はい。何だとこれって何倍ぐらいなんですけど。いや、もっと数字が下がります。様々な機会、即、
0:45:00	それはわかってる。
0:45:04	計算アンケートの計算結果で、
0:45:09	嘘昔のことが始めちゃった。
0:45:20	こっちの方。
0:45:22	ちょっと安全の数字的には、
0:45:28	単純 3 厘理由は、
0:45:32	内部で問われたときに、何で昔の方がすぐ入院だっけ。
0:45:38	答えます。定性的な話ですけど、定性的にはお答えられます。
0:45:46	何で昔のこんなに大きかったのっていう話なんですけど。
0:45:52	須崎さんのお母さんとか、
0:45:57	新宅磯崎さんとかがやられてた頃の話なんでしょうから、多分事情は多分そういう方が一番お詳しい感じるんで、
0:46:11	そう。
0:46:14	状況はすぐ新たな検査。
0:46:20	浅いぐらいを結んだとすると、ちょっと理由やメカニズムを全く想像できませんけど、大掃除というそういうのがあれば見通しとか、何かそういうのを、なんかちょっとしゃべって書いてもらって、いやこういう認めちゃうぐらいですとかって言ってもらえれば。
0:46:35	旧基準の中ではあるけれど、水源地を考えたとしても、すごいいいんだよとかいう言い方はあるかもしれない。今ほら中途半端じゃないですか、申請基準の許可がおりて、
0:46:50	係数とか全部決まったけど、実際伺おうとわかりませんっていうふうになって、まあまあそういうのがいいのかなっていうふうに思います。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:04	あそこでこんな話出ると思ってなかったなあ。いやもうそっちだったって連鎖は一つないと思って。
0:47:15	いや、建設部さんメールもいらっしゃる。
0:47:18	一番決めたら、
0:47:20	地震動、
0:47:23	事実確認だけ、ちょっと気にします。この事業は払っちゃう。
0:47:34	すいません。そういう意味で言うと、技術基準規則への適合性のところなんですけれども、今回の中で、
0:47:45	前回 4 月 25 日、
0:47:51	大正第 6 条第 1 項というところですね、そのところへ、
0:47:57	一番段落の下、なお、当該地震動による地震力は水平 2 方向及び鉛直方向について適切に組み合わせて算定するってあるんですけれども。
0:48:06	これについてはどういうふうに解釈するんですか。それが 1033 ページに関連する、23 ページの真ん中のところの原子炉施設はここから始まっているところの、
0:48:21	最後のところでお当該地震導入地震力は、
0:48:25	水平 2 方向及び鉛直方向について適切に組み合わせて算定するってありますけれども、
0:48:32	適切に組み合わせながら、
0:48:34	これ全部方針として欲しいんだ。これ、あれ、あれ
0:48:43	私から尾上さんに説明しますと、
0:48:45	この条文は一般結構言い方するんですよ。僕もね、最後の行っているのは、何を言いたいかって言うと、中井さんじゃなくて、一般的な会館なんかだと、
0:48:58	耐震Bクラスを、共振の恐れがあると。そういう時は弾性設計の地震動を使って、かつ水平鉛直は考慮しますってということで一般的に言いたいことが書いてあって、城野さんが言いたいことは、
0:49:13	いやそうなんだけれど、これ定ピッチスパン法っていうのってそもそも、その教習の恐れがないように設計してるから、ここの後ろの方の、今新井仙波さんおっしゃった短絡は、
0:49:24	城さんは、俺したことないっていう文章だね。
0:49:28	全体の方針としては同額ですけど、運行管理する系統って部署通り、今の話でピンチスマホでやったので、
0:49:38	壊れませんっていう、文章になってますとそれで、前沢すごいこと言ってくださったんでちょっとついでに言っておくと、許可との整合っていうのも我々見なきゃいけない、配るときに、私から小針さん方からちょっと聞きましたけど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:55	水平方向と鉛直方向については、これちょっと徳田地点の1項目挙げて作って、HT TRと同様に水平鉛直は考えますよと。
0:50:06	お出ししてるんですけどこの所、こういう方じゃないけれど、なので後、ここは定型文的には書いてありますけれど、水平と鉛直に関する組み合わせに関しては、適切に考慮。
0:50:20	必ずどこ、こういうふうにやれとは言わないけれど、
0:50:24	考慮しねってのは申請既存の目玉なんで、そこはちょっと、許可の制度って関係では考えといて欲しいなっていう、
0:50:33	今日は別にこれあの通り一辺倒の文章だから別にして、
0:51:24	こういうことなんだろうという予想をしたんですよ。昭和63年って、荒田さんとこの家族で、行って言われますでしょうけど、この時は0.389だったと、先ほどおっしゃったのは、
0:51:36	この総合的な方は S_s-D と出して、これやると、こういうもうちょっとちっちゃいんだけど、規制的な方は、多分これと同じ値と変わらないんじゃないかなってのはお前、実験装置評価書が変わらないと思うんですけど、そういうような、そういうところ。
0:51:56	ちょっとすいません。いや私は今想像したら多分こういうストーリーかなと思って、それストーリーでいいのかなっていうのは、ちょっと事実かもしれない。最終じゃないので、基本的にですよね。
0:52:10	教えていただければ、正規は救護者、つまり変わらないはずなので、今の数字で、それで駄目なんで、それで、
0:52:20	ここが水源売りだったね。こっちの時代は、今の時代だから、ぜひ適切になったらどうやろ。そうなんですネ。
0:52:37	ここだけちょっと違うんだったら、適切にの結果として、Bクラスの共振がないものなので、水平を見て、だからね、今のこの文章は、
0:52:49	この書き方を言ってる話なんだけど、こっち側って、ちょっと事実関係も、
0:52:58	確認してもらって、ちょうどツウエルんじゃないかなと思って。
0:53:03	お礼そうするとね、今の段階でこれ強度の整合性って言ってないところは、一節の方から本店、
0:53:12	いや、大丈夫。いや大丈夫っていうかも、次、昔の過去のやつを確認してもらえばいいと思うんですけど、ここ。
0:53:23	どう、この、この辺りがこれ昔の昭和63でしょ。
0:53:29	労働換えどうしますかっていうところの考え方が妥当であれば、新規制基準が関係なく床うと関係なく、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:39	できる可能性はもう、だからそれ説明してもらわないと、早々に参加できない。昔は自分ちょっと昔の話を確認してもらって、
0:53:50	こういうような全体の話ができるかっていうのは、うん。では、とにかくちょっとくどいんですけど、これは入りますよね。
0:54:01	そこをちょっといただきます。もし、
0:54:08	これ技術伝承しておかないと磯崎さんがね、こういうね、新規制基準で今後審査をやっていくときに、昔とるなとね、今度、どこら辺が違って、規制側はね。
0:54:20	プラントがどう変わるのかっていうのを、
0:54:23	頭がいいんならやらなきゃいけないのでちょっとサンプルかもしれません。
0:54:33	それで、
0:54:35	でも、あれなんですよ、これ申請を出されるのがいいんですけど。
0:54:40	僕はねその素朴な疑問にさらされるわけですよ。なぜ今とかね、これは何ですかとかそういう話お答えできないんですよ。
0:54:48	これなぜ今って言ったら、
0:54:51	たまたまそっちの都合で決めたって言ったかもしれませんね。
0:54:56	大津、世古堀田から視研修を受けて、ものとして、
0:55:01	ついてることが、
0:55:02	周りに、さっきの話じゃないですけど、邪魔になるので、一見きちっと切り離してその邪魔になったところをよく説明して欲しいんですけど。
0:55:13	現在、竹内はねそういう総務の人に本数字じゃないんだけど、
0:55:19	そういったところにかける貢献ですね、もうちょっとそれをやる理由というのを、ちょっと一番作ります。はい。
0:55:32	だけから来ます回収蛭田とか、この辺りが全部あれ、早崎って悪くわ一つとして、江藤側でバルブで。
0:55:43	火も止まってるうちは編集局宇都からもつけないですか。
0:55:51	町が管理する上で、フェースキャップとかで、向き方が抜きになってるような状況にならないように、管理としては、
0:56:02	工事と合わせて実施をする予定になってます。
0:56:09	切り離れた残りが、
0:56:13	知事室側の方です。
0:56:16	これ一応預かりは汚染されてるんですけど、こっちは、
0:56:24	そうですね、汚染されてないですか整理されてるから、バルブだけじゃなくてちゃんとふやして、うん。すいません、そういう説明がやっぱりあってあります。
0:56:37	はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:41	秋田さん。
0:56:43	平松教授の四方です。
0:56:46	これは旧関戸皆吉
0:56:51	監視強化と同じようなことでしょこれ出します。
0:56:59	だから、普通、そっから漏れなければ、あまり組合かわかりませんが、いかがですかね。はい。
0:57:27	卒業は学校に何かございますでしょうか。
0:57:37	です。
0:57:41	そうしましたら、今回コメントした内容について、改めて書いていただければなと思います。
0:57:48	では、次の資料の説明お願いいたします。
0:57:52	資料としては二つ、J-1-8を用意しております。
0:58:06	木下。
0:58:09	芦野については、安定性評価に関する、
0:58:16	説明の説明ですよね。
0:58:19	経産省に該当します。内容そのものが、テンロクに書いてある部分からは、
0:58:29	一番開業した場合の安定性評価。
0:58:32	に関する部分を切り出したものになってますので、
0:58:37	その内容はほぼほぼというか、電力からの抜粋になってるという形です。もろもろ、物性値、
0:58:47	聞こえとるとか結果テーマが記載されてるものになっているっていう形になります。それから、まずはこちら、それからもう1点の、
0:58:59	Jは市の発言ですので、改良体の条件設定についてまとめて、こちらはすみません、説明してもらいます。
0:59:18	3 ページ目から、改良体の直径の設定というところをまとめております。これは、説明した内容になってまして1月
0:59:30	芝田広報の内容ですね。それは、
0:59:33	漁村にしまして、その課題を製造部に噴射して、
0:59:38	田井太田を投資していくものです。解体設計に関しての施工仕様としては考えられてますけど、この配布資料の1の圧力流量引き上げ速度改善、これが、
0:59:50	施行しようというふうになります。
0:59:53	(4)はこれらの仕様ですね継続して整理をしながら施工率を管理いたします。
1:00:04	そこでこれらにつきまして整理せいというのが、実際の同条件。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:10	同じ地盤ですね、行いまして成立を確認しております。その時は改良系としても、前後を確保する。
1:00:18	番場世古氏に基づいて解体、直径 4.5 以上ということにしております。
1:00:33	スポーツです。直径を担保するために使うということで、(1)、要介護形を設定については消防と定め施行しよう。先ほどのですが、
1:00:46	パラメーターを管理することを改良し確保します。(2)で、大変直径 4.5 以上とするため交渉としては、
1:00:55	副主幹施行により本施工でも中高発明者確保がございまして、同様の所、二番城先生お願いをして要求してできることを確認した施行しようというふうにいたします。結果は 3 です。
1:01:12	施工に後程説明します換気に用います。これは菅生さんの基準はもう、
1:01:19	定めまして海域の各輸送において、直径 4.5 マネージャー4.5 メートル以上と申します。
1:01:28	抵抗しようというものを測定を記録いたします。障害検査条件。
1:01:35	表面上は検査によってはこれ施行前の記録をですね成功毎条件として管理すると、見る必要。
1:01:44	駄目。
1:01:46	4 ページ目ですね。
1:01:49	そこを気にしております。
1:01:52	これはもう、
1:01:55	この使用できない部分がございますが、審査会合で御説明の施工の手順ですね、表情に記載したものが、
1:02:06	3 ページ目の、
1:02:08	第 1 章というふうにしております。手順としては、新村島新設置、項目として進化してこれが 1 ですので款項目になります。
1:02:21	新設置しましてケーシングを挿入します。0 になる。
1:02:28	造成労基法入力で 6 挿入 1、ここで買い、確認をしまして、こちらの行政のパターン深度になりますのでここで計算を行います。
1:02:39	経審を開きまして書記本社を行って、⑤の造成、造成中に噴射流圧力流量、コアバレル資料引き上げ速度配膳相当というのを管理して、
1:02:52	造成の 4.5 メーター以上の確保すると、ということになります。
1:02:57	世界があるところの施工完了日に伝えればこの引き上げの審議を図りまして、最終的には造成の高さっていうのは確定させます。
1:03:07	会計に関する増税分を、さらに詳細に示したものが 5 ページ目になります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:18	右側の方に対象工程と書いてますが、
1:03:24	作業工程としては、別途、
1:03:27	一つの会議体 3 日で造成する計画にしております。
1:03:31	公民館管理対象層っていうのがございます。今回
1:03:36	3 層、内山の辺に対する改良対応を行いますので、三つのそれに対して会議を行います。
1:03:44	それを猪原代表が一番左に書いてございまして、繰り返し農産、
1:03:51	南出教授の行政開始後に、圧力流量を飾る所ですね。
1:03:59	圧縮空気の噴射コバヤシは移行しよう。
1:04:04	あと国内の噴射食料、これがもうね、
1:04:08	管理しながら、継続を行います。また引き上げを廃止して、離間会計プログラム、これらを管理項目として、
1:04:21	ペーパーにしていくというものがあります。これは各層ごとに、同じステップでクリアして返していきまして、最終的には増税完了というふうになります。
1:04:33	ここにあって、この箱に書いてあるものが、実際の管理、
1:04:38	置換項目になります。
1:04:44	ページ目が先ほどの、
1:04:46	ご説明したのは、そこからの解放時の説明資料。
1:04:52	ご協力いたします。7 ページ目が、こちらの施工会合でお示しておりますが、後期試験施工について 4.5 メーター以上確保できていると、いうことを確認したいというふうに思います。
1:05:09	ありがとうございます。
1:05:14	井川からございますでしょうか。
1:05:18	この資料の位置付けなんですけれども、もう一度 1-8 の位置付けは市橋にも、内容についてこれから議論するけれどもまずけども、申請資料の添付するっていうことに意義を考えて、最終的には、それはですね、本当にぜひお願いしたい。
1:05:36	内容、ちょっとあの形と、先日の承認の結論のことです。ありがとうございます。ありがとうございます。
1:05:57	に関しまして、滑り以外のものの視力凍結といったものも全部含めて、計算書を今回の地盤改良に関する部分の計算書なので、安定性評価をご覧ください。
1:06:13	保育所です。
1:06:16	市岡です。法案の二番のところでパート 2、液状化の安定性、あと地殻変動とかの話と、周辺斜面の安定性、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:29	ぐらいついていうのを示して、設置の段階では地盤の指導説明なんですけどその部分より上が一番会議をやる人だったところになりますので、すべての、
1:06:43	評価とその一連の時間ですよというふうな評価のところ、
1:06:51	それでいいと思う。
1:06:53	内容としてはもうちょっと連絡等含めて、センターでございます。ありがとうございます。
1:07:15	そうすると計算書的なところは、それは経済的な計算とか、外部から
1:07:24	今度は施工管理のところ、どの程度、
1:07:37	これ、これはそのまんま、申請書の、
1:07:44	いわゆる直の添付につくつつう局の二つは作るってことは、
1:07:52	本文か転嫁は添付だということですけど、内容的には、申請書として作ってことですよ。
1:08:12	出会いさんがちょっと先ほど打ち合わせの前にちょっと言っていた話、すみません精巧患者さんだったのかってこれ知らない事業者検査で確認することがあって、
1:08:24	我々の検査を確認することではないという、そういうことですか。そうですね基本的にはこれ、検査要領書ベースの話になってくるので、中の事業者検査として、
1:08:35	これをどうするかっていう時に、これ決める内容だと思ってますね。ただ、もうそこも含めて、設工認上でチームを確認しましょうっていうところなので、さっきの話で参考資料というのもありますけども。
1:08:49	もう少し各への添付書類って方が、この間の指示もありましたので、あるのかなというところで計算しようという計画で置いておこうかな。いや、もうそれぞれ理解してるそうです。
1:09:02	そこを責められたんで、そこは大事に対する、だから
1:09:08	ラマン物流という、いわゆるまとめ資料とかでいいのかなと思ってたわけですよ。山添塩田イコールってたらそうですそうするとそれって本当に出てこないんで、でもそれされることになってます。
1:09:28	そうすると、ちょ、見てる。はい。
1:09:38	じゃあ、
1:09:42	参与から、一応、私のマンション個人の今雰囲気感触としてはこれが申請書の添付でこれつくことによって、今日いただいた資料の中身はじっくり、もちろん、
1:09:55	解析書も含めてみますけど、
1:09:58	この中で、何とか
1:10:02	出るかな、どうかなっていうちょっとそういう感触にはちょっとなってきました。ありがたいです。今日、案として出していただいて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:11	ちょっと具体的な話ができたんです。はい。
1:10:15	一応我々飛んじゃ作成がスタッフの方針としては、今やってる。そうです。そうですね。あとは、
1:10:25	さらに詳細が求められるのか。
1:10:28	僕はこう書けないとか、そういう問いかけはあるかもしれないですけど。
1:10:34	儘田池崎はちょっとしていったださまとめ資料ではなく、作るのってね。
1:10:41	我々だけ言って、
1:10:50	わからないですか。説明で、角正田さん連れてまた的に隙間ができないように止めますという話だったでしょうか。
1:11:07	これも別件見たらすごい良いのかという気がして、
1:11:15	その店舗メーカープラス、その比失礼確認してどっかに書いてもらったら覚えます。ただ、築山東海林内容に施工しますっていう説明があったと思います。はい。ですそれがこの、
1:11:31	どっか入ってますか。
1:11:34	部長の馬場。
1:11:36	部長が、
1:11:43	確か宇都1をやってて、
1:11:47	その辺りらしいんですけど、4.5メートルの担保がその施工の条件で確認するんです。
1:11:54	当位置図を見たら隙間ないように設定しておりますっていうのは僕が確認しましたと言ったら、流れ必達で内容的には特殊なんです。一応、1体、検査項目そのものなんですよ。いや、そういう意味ですよ。
1:12:10	だけど、ずれたらボイドだったら受けますってのがあったでしょ。作ったら、だから隙間があるから、検査に合格しないんだと思うんです。すいません。
1:12:23	今回箇所がこれ、そうですね。仮にこれ何かどっかにずれた場合は、他の他のやつを全体を調整した上で、
1:12:38	隙間がないように、概要版ができないように変更する場合がありますね。はい。
1:12:48	加古。
1:12:55	だから多分その場合があるとかっていうよりも、ちょっとだけ積極的な言い方で運営ないように配置を見直すとかって書けば。うん。し、同じこと言ってるんですけど、そういう違う層、もう今そういうクレンジブですからですかね。
1:13:15	前安田さんいいかもわかりましたんで、じゃあこれかけて行かせて確認しましょう。そうですね。一応、
1:13:24	中出徳田さんいろいろチェックすると思うし、ちょっとこれをもって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:38	数にとってね、そうですね、そうそうそう。
1:13:47	そうです。中身はね、詰まってると思ってて、別に何か技術的に論点があるんがある。全くないんですけど、相当表現するかとか、どういう手続き論にするかっていうところだけなんです。そうか。これあんたここで書いてるって言えなかったな。
1:14:05	だからその積極的な委員会をね、するとか、姫野これ聞いてみる。
1:14:15	今の文言だけでもうちよっといいいですか、うちよっど。
1:14:29	車種ためのシステム。そうですね。
1:14:34	ちょうどねはいはい、わかりました。よろしくお願いします。
1:14:38	こちらの1-8について何か他に規制庁側からコメント等ございますでしょうか。
1:14:47	全体を通してもう、本日のヒアリングを終了いたします。ありがとうございました。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。